

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	プロダクトデザイン総合講座
科目基礎情報				
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期 前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	教科書：プロダクトデザイン、素材とデザインの教科書			
担当教員情報				
担当教員	袴田哲郎	実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的				
プロダクトデザイン、特に大量生産に欠かせない構造、材料、加工方法について理解し、造形としてのデザインに結びつけていく。デザインの過程で必要とされる科学的アプローチについて理解する。世の中で「〇〇工学」と呼ばれる学問のほとんどは、数値化し客観的に分析しにくい分野であることが多い。そこで重要になってくるのが統計学で、デザインにもかかわってくる。そこで、簡単な統計学の知識を理解する。				
到達目標				
プロダクトデザイナーとして社会に出て困らない材料、加工方法について理解する。また、製品の中身、「なぜこの形なのか？」について理解、考察できるようにする。デザインの過程において、必要とされる科学的アプローチについて理解する。				
教育方法等				
授業概要	教科書、または教員の用意した資料を元に学習する。一方、分解図では自ら工具を用意し、製品を分解、分解図を描けるようになる。			
注意点	分解作業用の工具必要。分解する製品は各自中古品等を購入する。分解図作成中は、A3バッグを用意のこと。課題提出の期日は守ること。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	40%	期末試験の点数によって評価	
	課題	40%	各種分解展開図を評価	
	平常点	20%	出席状況・態度を評価	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ガイダンス	技術とデザインの概要を教科書と資料で理解する。		
2回	樹脂材料1	樹脂材料の種類と特性を理解する。		
3回	樹脂材料2	樹脂材料の成型方法について理解する。		
4回	樹脂材料3／電卓分解図1	最先端の樹脂材料について理解する。電卓を分解開始。		
5回	金属材料1／電卓分解図2	金属材料の種類と特性を理解する。電卓分解図開始。分解図を描けるようになる。		
6回	金属材料2／電卓分解図3	金属材料の成型方法について理解する。電卓分解図作業を通して、箱型の電子製品の構造を理解する。		
7回	金属材料3／電卓分解図4	最先端の金属材料について理解する。電卓分解図提出。		
8回	エラストマ、シリコン	ゴム系材料について理解する。		
9回	アップルの歴史／分解図1	歴代のアップル製品を通してデザイン哲学について理解する。各自の製品の分解開始。		
10回	簡単な統計学／分解図2	不特定多数の消費者の意識を探るマーケティングにおける統計学について理解する。		
11回	人間工学／製品分解図3	プロダクトデザインにおける人間工学について理解する。／分解図作業。		
12回	製品分解図4	分解図作業。材質と構造を理解しながら作業を進める。		
13回	製品分解図5	分解図完成提出。		
14回	試験範囲説明	期末試験の出題内容を説明、復習する。		
15回	期末試験	期末試験。講義「デザイナーに必要な科学的知識」を理解する。		